

平成18年人文学部人間情報学科  
教員研究業績一覧（'06.1.1—12.31）  
Academic Achievements in 2006 :  
Department of Human Sciences, Faculty of Arts

凡例：

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥その他

**基礎人間学**

平木幸二郎 ⑥1) 出前講座「頭のよさと心の善さ」（5月24日，長野県社会教育委員連絡協議会）[単独] 2) 同前（7月15日，佐久長聖高校）[単独] 3) 同前（11月24日，長野県倫理学会）[単独]

篠原成彦 ⑤「主観性の神話に抗して：クオリア概念への懐疑」（日本科学基礎論学会2006年度秋の研究例会におけるワークショップ提題，11月25日，慶應義塾大学）[単独]

早坂俊廣 ③方祖猷著「狂禅と事功を一身に集めた万表」（『東アジア海域交流史現地調査研究—地域・環境・心性—』1号，平成17年度—21年度文部科学省特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成—寧波を焦点とする学際的創生」現地調査部門，107—124頁）[単訳] ⑤「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成—寧波の学術思想を例として—」（信州大学史学会，11月25日，松本市あがたの森文化会館・講堂）[単独] ⑥「何のために学ぶのか？—『論語』は問いかける—」（信州大学模擬講義，10月21日，松本県ヶ丘高校）[単独]

**行動科学**

嶋崎裕志 ②「仮現運動と眼球活動との関係」（『人文科学論集<人間情報学科編>』40号，信州大学人文学部，1—13頁）[共著] ⑤1) 「インクジェット用写真用紙における白さの好ましさに関する研究(1)」（日本色彩学会第37回大会，5月20日，京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス）[共同] 2) 「インクジェット用写真用紙における白さの好ましさに関する研究(2)」（日本色彩学会第37回大会，5月20日，京都工芸繊維大学）[共同] 3) 「インクジェット用写真用紙における白さの好ましさに関する研究(3)」（日本色彩学会第37回大会，5月20日，京都工芸繊維大学）[共同] 4) 「フィードバックエラー関連電位に及ぼす文脈の影響」（日本基礎心理学会第25回大会，6月10日，広島国際大学国際教育センター）[共同] 5) 「洞察問題解決過程における眼球活動」（日本認知心理学会第4回大会，8月2日，中京大学）6) “Psychopathic traits and autonomic responses to emotional stimuli” (The 46 th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research, 10月24日，Vancouver) [共同] 7) 「サイコパシー特性と情動反応の関係」（日本心理学会第70回大

会, 11月3日ー5日, 九州大学) [共同] 8) 「仮現運動と眼球運動」(日本心理学会第70回大会, 11月3日ー5日, 福岡国際会議場) [共同] 9) 「刺激映像が視聴者の感情・認知・生理反応に与える効果」(日本心理学会第70回大会, 11月3日ー5日, 九州大学) [共同] ⑥日本色彩学会東海支部役員(平成17年5月ー平成19年4月); 日本色彩学会東海支部代議員(平成17年5月ー平成19年4月)

内藤哲雄 ①『心理査定実践ハンドブック』(創元社) [共著] ⑤1) “Analysis of Personal Attitude Construct about a Scheme of Japanese Interpersonal Relation” (Paper presented at 26th International Congress of Applied Psychology, July 16-21, 2006) [共同] 2) “Pressing Social Problems in Recent Japan and Workable Solutions” (Paper presented at 26th International Congress of Applied Psychology, July 16-21, 2006) [共同] 3) 「オーストラリア人の人間関係スキーマ: 日本人日本語教師による PAC 分析」(日本応用心理学会73回大会, 9月10日, 文化学院大学) [単独] 4) 「パートタイム労働者の PAC 分析: 専門的職業からパートタイムの一般事務職へ転職したケース」(日本応用心理学会第73回大会, 9月10日, 文教学院大学) [共同] 5) 「あだ名によるいじめへのコーピングの効果」(日本応用心理学会第73回大会, 9月10日, 文教学院大学) [共同] 6) 「個」の独自性に迫るアセスメント」(日本応用心理学会第73回大会, 9月10日, 文教学院大学) [単独] 7) 「いじめへのコーピングに関する実験的検討: 加害者数と反論・冗談の効果」(日本社会心理学会第47回大会, 9月17日, 東北大学) [共同] 8) 「台湾留学生による日本人との人間関係葛藤の PAC 分析」(日本社会心理学会第47回大会, 9月18日, 東北大学) [単独] 9) 「日本人学生と中国人留学生の人間関係イメージ: 相手国の人間関係をどう見ているか」(日本社会心理学会第47回大会, 9月18日, 東北大学) [共同] 10) 「環境配慮行動に関する研究: 他者行動の変化による影響」(日本社会心理学会第47回大会, 9月18日, 東北大学) [共同]

村山研一 ②1) 「山村集落の長期的持続と持続の危機」(『中山間地の農林畜産業によって形成された地域環境の評価と環境保全技術の体系化』, 信州大学農学部, 平成15年度ー平成17年度科学研究費補助金(基盤研究A) 研究成果報告書, 11-23頁 [単著] 2) 「地域の価値はどのようにして形成されるか」(『地域ブランド研究』2号, 信州大学人文学部, 29-56頁) [単著] ⑤「地域自治会の役割をめぐって(コミュニティと住民意識・2005年穂高調査より Part 2)」(地域ブランド研究会, 6月18日, 安曇野市堀金総合体育館多目的ホール) [単独] ⑥公開シンポジウム「農林業のもつ地域環境の保全機能」(信州大学山岳科学総合研究所・信州大学農学部科学研究費基盤A研究チーム, 3月18日, 信州大学農学部30番教室) [パネルディスカッション・コーディネーター]

今井章 ①「6章「視覚探索」, 7章「自然な場面と行為」『アクティヴ・ビジョンー眼球運動の心理・神経科学ー』北大路書房, 103-126頁, 127-148頁) [共著] ②「仮現運動と眼球活動との関係」(『信州大学人文学部人文科学論集<人間情報学科編>』40号, 信州大学人文学部, 1-13頁 [共著] ⑤1) 「フィードバックエラー関連電位に及ぼす文脈の影響」(日本基礎心理学会第24回大会, 6月10日, 広島大学) [共同] 2) 「洞察問題解決過程における眼球活動」日本認知心理学会第4回大会, 8月2日, 中京大学) [共同] 3) “Psychopathic traits and autonomic responses to emotional stimuli” (The Forty-Sixth

- Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research, 10月24日, Vancouver) [共同] 4) 「サイコバシー特性と情動反応の関係」(日本心理学会第70回大会, 11月3日, 九州大学) [共同] 5) 「刺激映像が視聴者の感情・認知・生理反応に与える効果」(日本心理学会第70回大会, 11月5日, 九州大学) [共同] 6) 「仮現運動と眼球運動(2)―詳細な眼球運動の分析―」(日本心理学会第70回大会, 日本心理学会第70回大会, 11月5日, 九州大学) [共同] ⑥1) 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成17年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について―安全運転のために―』」(1月19日, 長野県松本文化会館) 2) 日本心理学会認定心理士認定委員会出席(4月22日, 5月20日, 6月17日, 8月19日, 龍名館本店, ホテル機山館) 3) 信州大学説明会模擬講義講師「高校生のための心理学『超』入門講義」(9月2日, 諏訪二葉高校) 4) 社団法人日本心理学会『心理学研究』論文査読委員 5) 静岡大学情報学部『情報学研究』学外論文査読委員
- 渡邊 勉 ②1) 「ライフイベントの順序パターン」(『人文科学論集<人間情報学科編>』40号, 信州大学人文学部, 15-31頁) [単著] 2) 「日本の核家族化」(『社会の見方, 測り方: 計量社会学への招待』, 勁草書房, 37-45頁) [単著] 3) 「地域に対する肯定観の規定因: 愛着度, 住みやすさ, 地域イメージに関する分析」(『地域ブランド研究』2号, 地域ブランド研究会, 99-130頁) [単著] ⑤1) 「コミュニティ意識の構造」(第2回地域ブランド研究会大会, 6月18日) [単独] ⑥1) 『地域活動と住民意識に関する穂高町民調査報告書』(信州大学人文学部社会学研究室, 270頁) [共編著] 2) 「研究部門紹介: こんな研究を進めています」(『山岳科学総合研究所ニュースレター』創刊号, 3頁) [単著]
- 杉浦義典 ①1) 『不安障害の臨床心理学』(東京大学出版会) [共編著] 2) 『キーワードコレクション パーソナリティ心理学』(新曜社) [共著] 3) 『強迫性障害治療ハンドブック』(金剛出版) [共著] 4) 『健康のための心理学』(保育出版社) [共著] 5) “Horizons in buddhist psychology: Practice, Research & Theory” (Taos Institute Publications) [共著] ②1) 「神経質傾向と不安への態度―森田療法の鍵概念の測定―」(『人文科学論集<人間情報学科編>』40号, 信州大学人文学部, 33-46頁) [共著] 2) 「エビデンスに基づいた臨床心理学教育: 教養教育への示唆」(『信州大学高等教育システムセンター紀要』2号, 信州大学高等教育システムセンター, 75-81頁) [共著] ③1) 『侵入思考: 雑念はどのように病理へと発展するのか』(星和書店) [共訳] ⑤1) “Ability to refrain from catastrophic thinking: A marker to understand the mechanism of mindfulness” (TSCM Symposium 4-Working mechanism of mindfulness and acceptance: Looking for active ingredients to enhance cognitive-behaviour therapy practice. Symposium conducted at 1st Asian Cognitive Behaviour Therapy (CBT) Conference, Shatin, Hong Kong) [共同: Chair] 2) “Negative life events and obsessive-compulsive symptoms: Moderating role of obsessive beliefs” (Symposium conducted at 1st Asian Cognitive Behaviour Therapy (CBT) Conference, Shatin, Hong Kong) [共同] 3) Psychopathic traits and autonomic responses to emotional stimuli (46th Annual Meeting of Society for Psychophysiological Research, Vancouver, Canada, October) [共同] 4) 「マインドフルネス&アクセプタンス―感情の制御を再解釈する枠組みとして―」(日本心理学会第

70回大会ワークショップ, 11月3日, 九州大学) [共同] 5) 「社会不安障害と対人恐怖症—視覚的刺激の役割—」(日本認知療法学会第6回大会自主シンポジウム, 10月7日—9日, 東京大学) [共同] 6) 「心配の認知モデル」(日本認知療法学会第6回大会自主シンポジウム, 10月7日—9日, 東京大学) [共同] 7) 「サイコパシー特性と情動反応の関係」(日本心理学会第70回, 11月3日, 九州大学) [共同] ⑥ 「松本宵の口マガジン」(信越放送, 年12月12日)

長谷川孝治 ②1) 「望ましい自己像と現実の自己像との不一致の変化が精神的健康に及ぼす影響—総合保険科学」(『広島大学保健管理センター研究論文集』22号, 広島大学保健管理センター, 17—23頁) [共著] ③ 『基礎から学ぶマルチレベルモデル』(ナカニシヤ出版, 原題: Ita Kreft & Jan de Leeuw 1998 *Introducing Multilevel Modeling*. London: Sage.) [共訳] ⑤1) 「低自尊心者における下方螺旋過程についての検討(4)—低自尊心者の誰に対する安心さがしが、抑うつに結びつくのか—」(日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会, 5月27日, 武蔵野大学) [共同] 2) 「安心さがしが他者からの評価に及ぼす影響—潜在曲線モデルを用いた検討—」(日本社会心理学会第47回大会, 9月17日, 東北大学) [共同] 3) 「低自尊心者における下方螺旋過程についての検討(5)—低自尊心者の高自尊パートナーに対する安心さがしが抑うつ傾向に及ぼす影響—」(日本心理学会第70回大会, 11月3日, 九州大学) [共同] 4) 「シャイな人はいかにしてネットワークを拡大するか—高シャイ者のとる社会的代理人行動の有効性—」(日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会, 5月28日, 武蔵野大学) [共同] 5) 「自己観と集団表象の関連性が自己評価維持・高揚戦略としての内集団アイデンティティの促進・抑制に及ぼす影響」(日本グループ・ダイナミクス学会第53回大会, 5月27日, 武蔵野大学) [共同] 6) 「他者を受容することが低自尊心者を適応的にする?—他者への働きかけが低自尊心者の適応に及ぼす影響—」(日本社会心理学会第47回大会, 9月17日, 東北大学) [共同] ⑥1) 「低自尊心者の下方螺旋過程」(心理学電子コロキウム発表, 5月11日, 旭会館 SUNS 遠隔中会議室) [単独] 2) 「自己嫌悪の悪循環から抜け出すために: 対人社会心理学の視点から」(信州大学人文学部公開講座 第50回夕べのセミナー, 7月11日, 信州大学人文学部) [単独] 3) 「自分を好きになる心理学」(上松町成人式講演会(主催: 上松町教育委員会, 8月15日, 上松町勤労者福祉センターホール) [単独]

## 文化情報論

澤木幹栄 ①1) 『方言文法全国地図第6集』(国立国語研究所) [共著] 2) 『徳之島方言二千文辞典』(文部科学省科学研究費(基盤(B))「徳之島方言辞典作成のための研究」の報告書) [共著] ② 「方言使用の近未来的課題」(『月刊日本語学』25巻1号, 明治書院, 70—77頁) [単著] ④ 「勘違いを笑い飛ばそう」(『月刊日本語学』25巻4号, 明治書院, 60—66頁) [単著] ⑤1) “Making Multimedia Dialect Dictionary as a Database with Indexes and Cross-references” (International Society of Dialectology and Geolinguistics (SIDG) 5th International Congress 2006, 9月6日, Universidade do Minho, Braga, Portugal) [共同] 2) 「方言文法全国地図資料のデータベース化」(国立国語研究所公開研究発表会, 12月16日, 国立国語研究所) [単独] 3) 「方言文法全国地図資料のデータベ

- ーす化」(長野言語文化研究会, 12月17日, あがたの森文化会館) [単独]
- 中嶋聞多 ②1)「地域ブランド構築の実践的事例～塩尻地域のブランド化への取り組み」(『地域ブランド研究』2号, 地域ブランド研究会, 73-94頁) [共著] 2)「情報システム学の枠組み」(『情報システム学会研究発表大会予稿集』, 情報システム学会, HIS-04) [単著] ⑤1)「地域ブランドについて」(地域ブランド研究大会, 6月18日, 安曇野市) [単独] 2)「情報システム学の枠組み」(情報システム学会研究発表大会, 平成18年12月2日, 専修大学) [単独]
- 菊池 聡 ①1)「人の眼と機械の眼」(『視聴覚メディアと教育方法 ver.2』, 北大路書房, 39-57頁) [共著] 2)「認知地図における空間関係の判断」・「ノンバーバル・コミュニケーションとパーソナル・スペース」(『心理学実習 基礎編』, 培風館, 74-81頁) [共著]
- ②1)「現代の社会と高校生の心理に関する調査: 超常信奉およびフリーター問題について」(『かしこい市民を育てる経済学教育の展開とその教育心理学的評価 平成14-17年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書』, 108-123頁) [共著] 2)「webを利用した学生による授業評価に対する回答行動の分析」(『信州大学高等教育システムセンター紀要』2号, 信州大学高等教育システムセンター, 83-98頁) [共著] 3)「疑似科学を信じる心のシステム」(『科学』76号, 岩波書店, 910-915頁) [単著] 4)「地震の宏観異常現象研究における疑似科学的徴候」(『Journal of Japan Skeptics』Vol.14, 9-18頁) [単著] ④「書評 嘘とだましの心理学」(『JAPAN SKEPTICS NEWSLETTER』No.59, 10頁) [単著] ⑤1)「因果関係の認識に関する心理的錯誤について」(全日本鍼灸学会東京地方会研修会, 4月16日, 東京大学) [単独] 2)「人の情報処理バイアスと錯誤を知る」(全日本鍼灸学会関東甲信越支部研修会, 5月14日, 東京大学) [単独] ⑥1)「リスク情報を正しく判断するためにー心理学から見たリスク認知の歪みー」(『セキュリティ研究』, 4月号, セキュリティ総合研究所, 3頁) [単著] 2)「だまされる心」(『兵庫県高齢者放送大学テキスト』, 18年度第5号, 8頁) [単著] 3)「わかりやすい表現を実現する 認知心理学からの情報デザイン入門」(id=Nagano 第2回 Work Shop, 1月22日, 長野市もんぜんプラザ) [単独] 4)「職場コミュニケーション向上のための認知心理学」(老人性痴呆疾患センター研修会, 3月22日, 山梨県立北病院) [単独] 5)「認知心理学の視点からわれわれの業務を問う」(平成18年度国立身障者厚生援護施設教官特別研修会, 7月26日, 国立函館視力障害センター) [単独]

### 地域文化変動論

- 柴野 均 ③「ローマ進軍とその周辺(3)」(『人文科学論集』<人間情報学科編>40号, 新種大学人文学部, 47-71頁) [単訳]
- 久保 亨 ①1)『1949年前後の中国』(汲古書院, 1-399頁) [編著] 2)『世界史史料 [10] 20世紀の世界 I』(岩波書店, 本文1-410頁+索引1-15頁) [共編] ②1)「現代」(1. 研究の視点, 2. 研究の展開(2)社会経済史, 3. 史資料の解説)(『中国歴史研究入門』, 名古屋大学出版会, 264-266頁, 274-288頁) [単著] 2)「興亜院とその中国調査」(『中国の地域政権と日本の統治』, 慶應義塾大学出版会, 273-307頁) [単著] 3)「近代山東経済とドイツ及び日本」(『日本の青島占領と山東の社会経済 1914-22年』, 東

- 洋文庫, 55—81頁) [単著] 4) 「興亜院と戦時日本の中国調査」(『近代中国: 経済与社会研究』復旦大学出版社, 88—123頁) [単著] 5) 「近現代の中国と世界(第20回国際歴史学会議シドニー大会特集)」(『歴史学研究』815号, 歴史学研究会, 43—50頁 [単著] ④ 「書評・高綱博文編『戦時上海—1937～1945年—』」(『歴史学研究』814号, 歴史学研究会, 35—38頁 [単著] ⑤ 1) “Nation-state Building Effort by Guomindang and Financial Technocrats, 1928-1937” (Historical Society of Twenty Century China “Chinese Nation, Chinese State, 1850-2000” Session 2 Panel B Private Enterprise and Economic Nationalism, 6月26日, シンガポール大学) [単独] 2) 「国民政府財政与財政次長張壽鏞」(第5回中華民国史シンポジウム, 7月29日, 中国・浙江省溪口市) [単独] 3) “Industrial Development in Republican China, Newly Revised Index: 1912-1948” (第14回国際経済史学会, セッション103, 23/08/06, フィンランド・ヘルシンキ大学) [単独] 4) 「1946年の開放外匯市場与戦後中国金融制度」(近代中国金融制度変遷シンポジウム, 8月31日, 中国・上海・復旦大学) [単独] ⑥ 1) 「近現代の山東経済と日本—青島ビール・在華紡などを例に—」(東洋文庫平成18年度秋期東洋学講座, 11月14日, 東京・東洋文庫) [単独] 2) 「経済の発展過程から見た上海」(11月17日, 東京・霞山会) [単独]
- 笹本正治 ① 1) 『伊那の歴史・地域性と先人の知恵』(伊那市) [共著] 2) 『村上義清と信濃村上氏』(信毎書籍出版センター) [監修・共著] 3) 『高遠城跡ガイドブック—高遠城跡 この城をもっと知ろう—』(高遠町教育委員会) [監修・共著] 4) 『実録 戦国時代の民衆たち』(一草舎) [単著] 5) 『別冊歴史読本 歴史の中の遊女・被差別民』(新人物往来社) [共著] 6) 『新・歴史群像シリーズ⑤ 闘神武田信玄』(学習研究社) [共著] 7) 『軍師山本勘助—語られた英雄像—』(新人物往来社) [単著] ② 1) 「今に生きる進徳館の心」(『第5回藩校サミット in 高遠～進徳館精神を今, そして未来に～報告書』, 伊那市, 27～34頁) ④ 1) 「下村遺跡の危機に際して」(『南信州新聞』3月12日) 2) 「ヨーロッパ人が見た信玄」(『山梨県立博物館開館記念特別展 よみがえる武田信玄の世界』山梨県立博物館) 3) 「家紋にみる戦国時代の家意識—県立博物館特別展より」(『山梨日日新聞』5月11日) 4) 「飯山の魅力」(『広報飯山』9月15日, 飯山市) 5) 「『飯山』と聞くだけで心が踊る」(『飯山市公式ガイドブック』, 飯山市観光協会) 6) 「現代の人々の心もつかむ武田信玄」(ライブリープレス特別版『武田信玄の足跡をたどる戦国浪漫の旅』, アルピコエージェンシー) 「信玄から見た謙信像をさぐる」(『トランヴェール』第19巻第12号) ⑥ 1) 「武田信玄をめぐって」(市民タイムス広告会, 2月7日, ホテルブエナビスタ) [単独] 2) 「『評伝武田信玄』をめぐって」(信州大学生協・生協読書サロン, 4月3日, 長野市平安堂) [単独] 3) 「長野県と武田信玄」(長野起工会, 5月24日, ザ・グランドティアラ上田高砂殿) [単独] 4) 「信濃源氏村上氏について」(長野県文化財保護協会長野支部, 5月26日, 長野市役所職員会館) [単独] 5) 「今に生きる進徳館の心」(第5回全国藩校サミット in 高遠, 5月27日, 高遠町総合福祉センター「やますそ」) [単独] 6) 「川中島合戦前夜, 信玄の願文」(戸隠遊行塾, 6月10日, 武田旅館) [単独] 7) 「地域おこしとたからもの」(飯山市公民館役職員研修会, 6月17日, 飯山市中央公民館) [単独] 8) 「戦国時代を生き抜く—小岩岳城で何があったか—」(安曇野私立穂高東中学校, 6月26日, 穂高東中学校講堂) [単独] 9) 「武田信玄はどんな人」(駒草経済懇話会, 7

- 月13日, ホテルオークニ) [単独] 10) 「戦国時代の民衆」(高知県立高地歴史民俗資料館, 7月29日, 博物館講堂) [単独] 11) 「武田信玄をめぐる」(阿智村観光協会・教育委員会, 9月2日, 昼神温泉観光センター) [単独] 12) 「猿沢の池が血に染まる—伝承と場のイメージ—」(中世文学会, 10月14日, 信州大学人文学部・経済学部新棟) [単独] 13) 「山本勘助をめぐる」(信州大学出前講座, 10月22日, 飯山市公民館) [単独] 14) 「山本勘助と武田信玄」(長野県中小企業団体中央会, 11月2日, ホテル信濃路) [単独] 15) 「小菅現地案内」(信濃史学会・飯山市教育委員会, 11月11日, 飯山市小菅) [単独] 16) 「山本勘助をめぐる」(高遠町観光協会, 11月16日, 高遠閣) [単独] 17) 「日本人が抱いた水と堤防への意識」(三峰川連絡会, 11月19日, 伊那市役所) [単独] 18) 「山本勘助と武田信玄」(長野産業機材協同組合, 11月29日, 日本機材会議室)
- 山本英二 ②「日本史研究と温泉」(『群馬歴史民俗』27号, 群馬歴史民族研究会, 23—30頁) [単独] ④1) 「書評と紹介・井上攻著『由緒書と近世の村社会』」(『古文書研究』61号, 日本古文書学会, 99—100頁) [単独] ⑤1) 「日本史研究と温泉」(群馬歴史民俗研究会創立25周年記念シンポジウム「温泉の歴史と文化を考える」基調報告, 前橋市民文化会館, 3月19日) [単独] 2) 「松本藩大町組長吏組頭の文書について」(東日本部落解放研究所・松本人権推進古文書研究会主催・東日本地域部落史交流会報告, アルペン浅間荘, 11月17日) [単独] ⑥1) 「日本史を読みなおす」(講座, 名古屋市栄中日文化センター, 1月20日, 2月17日, 3月17日, 4月21日, 5月19日, 6月16日, 7月21日, 8月25日, 9月15日, 10月20日, 11月17日, 12月15日) [単独] 2) 「山田家の地主経営と渋温泉・佐久間象山」(講演, 中野市教育委員会・国文学研究資料館アーカイブス研究系主催・地域史講演会—江部・山田家文書整理完成記念—高井地域の江戸時代を考える, 中野市市民会館, 10月7日) [単独] 3) 「歴史上の事件と時代考証」(講演, 岡谷市湊公民館高齢者学級, 10月13日, 岡谷市湊公民館) [単独] 4) 「日本史学の現在」(出前講義, 飯田風越高校, 12月14日) [単独]
- 大串潤児 ①『「思想の科学」50年の回想 地域と経験をつなぐ』(出版ニュース社, 232—248頁) [共著] ②「1950年代, 小田原地域の青年団運動と『青少年』」(『1950年代地域史の総合的研究—神奈川県小田原市を事例として』, 2002—2005年度科学研究費補助金 [基盤研究(CX1)] 研究成果報告書; 課題番号14530089, 157—176頁) [単著] ④1) 「書評: 天野正子『つきあいの「戦後史」』」(『図書新聞』第2759号, 3頁) [単著] 2) 「書評: 道場親信『占領と平和』青土社2005年」(『社会思想史研究』30号, 187—191頁) [単著] 3) 「研究動向紹介 飯田市歴史研究所編『時報・村報にみる「満洲」移民』」(Soucebook: Japanese Emigrants to “Manchuria” Described in Village Gazettes, 飯田市歴史研究所, 2006年) 刊行によせて」(『信大史学』31号, 83—89頁) [単著] 4) 「『特攻隊論ゼミ』を終えて, あらためて安曇野地域の平和文化を考える」(『地域ブランド研究』2号, 169—172頁) [単著] ⑤1) 「今, 戦争を考える視点」(2006年5月14日, 長野県歴史教育者協議会中間研究集会, 松本市中央図書館) 2) 「戦後小田原地域における文化運動・社会運動」(東海大学「地域史を掘り起こす」第8回, 東海大学) 3) 「いま, 戦争を考える意味」(小諸市民大学, 小諸市文化センター) 4) 「戦争と大衆文化」(国立歴史民俗博物館「20世紀における戦争I」シンポジウム, 日本出版クラブ会館) ⑥『特攻隊論ゼミ報告書』

(信州大学人文学部大串研究室) [編著]

### 文化生態学

- 吉田隆彦 ①『SOME GEOGRAPHICAL DESCRIPTION ON SHINSHU 2nd EDITION』(信濃教育会出版部, 1—150頁) [単著] ②1)「高冷地をめぐる諸問題, 土地利用の戦後史」(『信濃』58—4, 信濃史学会, 1—22頁) [単著] 2)「Land Use Conversion and Landscape Transition with the Development of Tourism and some environmental Problems in shinshu District, an inland Area of central Japan」(『人文科学論集<人間情報学科編>』第40号, 信州大学人文学部, 73—97頁) [単著] ④書籍紹介「英語でつづる信州の地理」(『地域ブランド研究』2号, 地域ブランド研究会, 183—187頁) [単著] ⑥「地理学の視点からみた白板・北部地域の近代化, 産業経済, 住民の生活」(松本市北部公民館市民講座, 10月, 松本市北部公民館) [単独]
- 佐々木明 サブボレアル期紅葉(紀元前1.6—1.1千暦年)の古気温と諸文化—完新世の人類学(8) (『人文科学論集<人間情報学科編>』40号, 99—122頁) [単著]